

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	22	学校名	仙台市立七郷小学校	校長名	三浦 潤子
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

七郷の「環境まちづくり」について学ぶ。



2 取組の紹介

(1) 生活科や総合的な学習の時間での取り組み

2年生は、学年園で4種類の野菜を育て、生育を観察するとともに学校給食の食材として活用したり家庭に持ち帰ったりしました。また、明成高校や八木山動物公園と連携しながら、「カボチャプロジェクト」に取り組みました。ゾウの糞で作ったたい肥を用いてカボチャを育て、ゾウにカボチャをプレゼントする活動を通して、食物のサイクルについて学ぶことができました。学んだことを学習発表会で表現しました。



4年生は、「おらほの田んぼ」をテーマに、田植え、稲刈り、脱穀を体験しました。JA仙台青年部の皆様に教えていただきながら、農薬を使用しない栽培方法や水の管理の仕方、環境への配慮について理解を深めました。また、七郷の復興への取組や地域の人々の思いと、自分たちの稲作体験を結び付けて、人と環境との関わりについて考えを深めることができました。

6年生は、みやぎ環境ネットワークの方から「海洋ごみ」についてお話をいただいたり、実際に「海洋ごみ」を見せてもらったりしました。「海洋ごみ」の原因や対策への理解を深め、地域をはじめとした海全体の環境を守りたいという意識が高まりました。また、総合の「未来のまちづくり」の学習では、SDGsを意識した未来の町の模型を作りました。



(2) 緑化委員会の取組

「小さな種から大きな花へ」をテーマに活動しました。花や緑のお世話をしたいという意欲にあふれた児童が集まっています。5月と8月に夏花壇、冬花壇用の種まきをします。5月は、マリーゴールド、サルビア、ヒマワリなど9種類、8月は葉ボタン、パンジーなど8種類の種をまきました。2度の植え替えの後、自分たちで花壇に植えた苗が成長し、やがて咲いた花を見たときの感激はひとしおです。児童たちは活動を通して、自然の力の大きさや花たちの生命力を感じることができました。



また、復興や夢をテーマに荒浜小や虹の絵を描いたプランターカバーを緑化フェアに出展しました。

3 取組の成果 (児童生徒の変容)

学習前には、環境に興味を示さない児童もいましたが、取組の後には自ら七郷の自然や海の手を守りたいという気持ちを表すようになりました。これからも、「自分にできることは何か」を考えて、実践する児童を育てていきたいと思ひます。